

ソノ一ハ、米價政策ノ破綻デアル。コレハ資本家、地主的農業制度カモツ矛盾ト缺陷トヲ、最モ露骨ニ表明シタモノダ。彼等ニトツテ可能ナル一切ノ政策ハヤリツクシテ、イマヤ、ソノ核心タル土地制度、生産關係ニフレントシツ、アル。

ソノ二ハ、五・一五事件、農民決死隊、愛郷塾一派ノ公判廷陳述デアル。典型的ナ自作農ノ不滿・動搖ト没落ノ過程、自作過小農ノ産業組合的運動（農業改良主義）ノ現社會ニ於ケル既結ヲ看ルコトカ出來ル。

ソノ三ハ、昭和八年前半期ニ於ケル小作爭議件數ガ、昭和六年、七年ト作リツ、アツタ最高記録ヲモ突破シタ。シカモ、土地取上ゲカ、實ニ總件數ノ六二・五%ヲ占メテキル。六年以來、階級對立ヲ撲殺セントスル反動時代ニ入ツテ、尙、愈々、地主ノ攻勢トコレニ應ズル貧農ノ抗爭トガ、土地問題ヲ中心ニ激化シツ、アルコレニヨツテミルモ、客觀的情勢ハ、農民問題ノ現實ヲシテ、根

本的ナル土地制度ト獨占資本及地主支配トニ力點ヲ置カセ、中農ノ動向ニ注意ヲ向ケネバナラヌヤウニ展開シテキル。コ、ニ、農業恐慌以降ニ於ケル農民運動ノ發展ニトツテノ、新タナ事態ノスカタガアル。全農ニ課セラレタ役割ノ再檢討ハ、コ、カラ出ル。

全農ノ活動ノ全國的高度化、活動範圍ノ多岐、複雑化、コノ理解ト能力トガ全國ニ把握サレ、ソノ上ニ、結合ヲ一層強固ニシ、以テ貧シキ農民ノ地位ノ即時直接ノ改善ニヨツテ、最モオクレタル未組織大衆ヲ奮ヒ起タセ、眞ノ教育ヲ與フルトイフ、全農ノ從來カラノ任務ヲ遂行スルコトカ依然トシテ肝要ナノデアル。

シカシテ、今日ノ内外ノ激動ニ際シテ、ソレニ伴フ社會不安的諸現象ニ眩惑サレ、オ先キ走リニ追隨スルモノ、疑惑ト停滞ノウチニ、立チ腐レルモノガ發生スルコトモ亦必然デアル。メガ、ソレ等ヲ、全農ノ轉落又ハ、腐蝕作用トマデ擴大セシメテハナラナイ。光輝アル我カ全國農民組合ハ、イツモ激刺トシタ彈力ニ富ミ、ツ